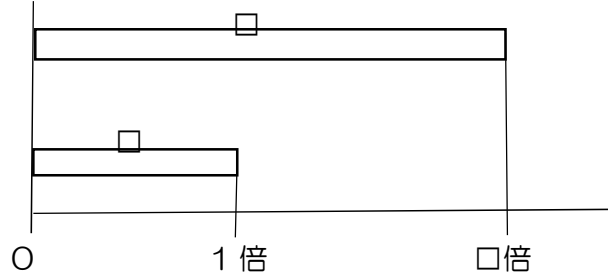


○割合（倍）の問題を解くには

1. 動作化で考える。
2. 倍の数直線図をかく。（主に 5・6 年で扱う数直線図につながる。）

①「倍」の問題は、まず、下のような図をかく。



②□の中に数値を当てはめていく。

③図を見て立式する。

※どちらにしてももとにする量（1 倍分）が何かを見つけることが、問題を解くカギになる。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

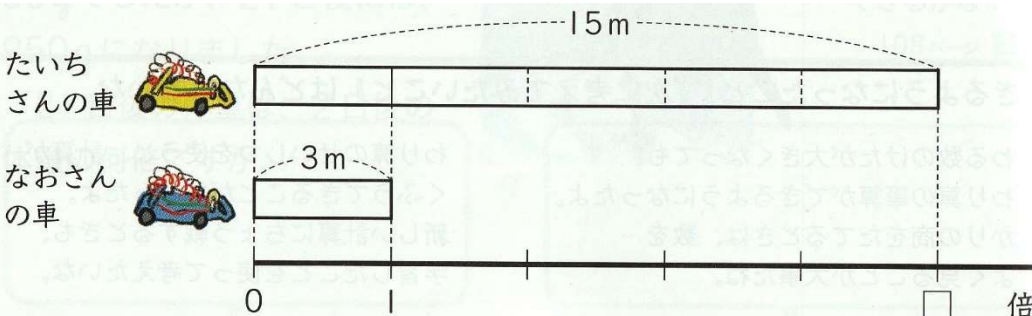
②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

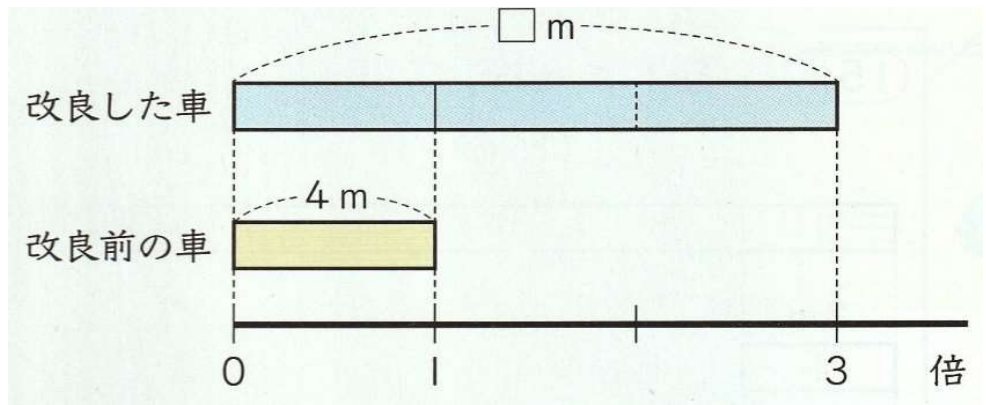
〇何の何倍かを考えて問題を解こう。（P112/113）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 なおさんの車は3m、たいちさんの車は15m進みました。 たいちさんの車が進んだきよりは、なおさんの車が進んだきよりの何倍ですか。 〇動作化をしながら、2～3回ゆっくり読む。 T:わかりましたか。式と答えはどうなりますか。 C: $15 \div 3 = 5$ 5倍 T:そうですね。今日は、問題を解くことも大切ですが、「倍」について少し考えようと思います。 この「5倍」とは、何の5倍ですか？→C:3mの5倍 T:3mは、何倍？→C:1倍 T:そうですね。だから $15 \div 3 = 5$ というのは、言い換えれば 「3を1倍としたとき、15が5倍になるということですね」 これを「3を1と見たとき、15が5にあたるといいます。」 1倍とする量を「もとにする量」とか「1と考える量」とかといいます。 T:倍について少しわかったでしょうか。 T:では、問題を動作化をして、倍の数直線をかいて、式と答えをかきましょう。 ※倍の数直線は、3年で学習済み。（想起させるのを目的とする。）	
2. 自力解決・学びあい  15 ÷ 3 = 5 5倍	・指名→板書
3. まとめ・ふりかえり T:今日は、わり算の意味と倍についてまとめます。 〇 $15 \div 3 = 5$ とは、 ① 3を1倍としたとき、15が5倍になるということ。 ② 3を1と見たとき、15が5にあたるという。 〇 倍の問題は、もとにする量（1と考える量）が、何かを見つける。 T:では、P113①を倍の数直線図をかいて、式と答えをかいて、持ってきてみましょう。	・個別指導

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

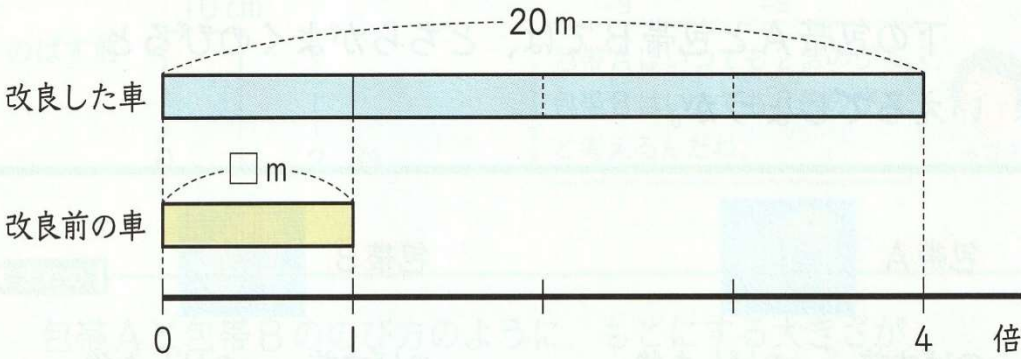
○何の何倍かを考えて問題を解こう。（P114）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 あいさんの車は、4m進みました。車を改良したら、改良前のきよりの3倍のきよりを進みました。改良した車が進んだきよりは何mですか。 T:動作化しながらゆっくり 2～3 回読む。 ①どんな様子か考えよう。（情景図的動作） ②どんな倍の数直線図をかいたらいいか考えながら聞こう。（倍の数直線図的動作） T:1 倍は？→C:改良前の車 T:そうですね。では、倍の数直線図をかいて、式と答えをかこう。 ※3 回目を読みながら倍の数直線図をかかせる。	•WB
2. 自力解決・学びあい  $4 \times 3 = 12$ 12m ※子どものかいた答えを修正していく。 倍の数直線図の定着をはかる。	• 全員の WB を貼りだす。
3. まとめ・ふりかえり OP114②	• 個別指導

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

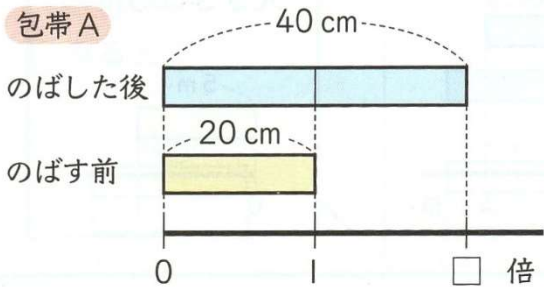
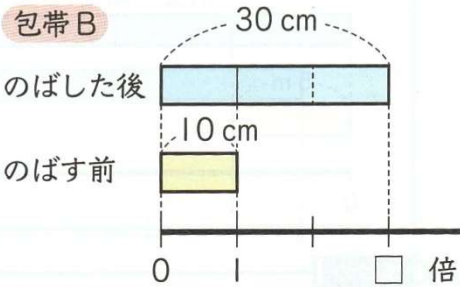
〇何の何倍かを考えて問題を解こう。（P115）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 改良した車が進んだきよりは、改良前の車が進んだきよりの4倍で、20mです。 改良前の車が進んだきよりは何mですか。 T:動作化しながらゆっくり2～3回読む。 ①どんな様子か考えよう。（情景図的動作） ②どんな倍の数直線図をかいたらいいか考えながら聞こう。（倍の数直線図的動作） T:1倍は？→C:改良前の車 T:そうですね。では、倍の数直線図をかいて、式と答えをかこう。 ※3回目を読みながら倍の数直線図をかかせる。	・WB
2. 自力解決・学びあい  20÷4=5 5m ※子どものかいた答えを修正していく。 倍の数直線図の定着をはかる。	・全員のWBを貼りだす。
3. まとめ・ふりかえり OP115③	・個別指導

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇割合を使ってくらべよう。（P116/117）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 T:今日は、割合（何倍）を使って、比べる方法を勉強します。 どのようにするか説明します。 お菓子屋さんがいます。 10円で仕入れたあめを50円で売る。 30円で仕入れたあめを60円で売る。 $50 \div 10 = 5$ 倍 $60 \div 30 = 2$ 倍 お菓子屋さんは、50円のあめを売る方がもうけがよい。 と、考えるような場合です。 T:では問題です。 東小学校では、よくのびる包帯を多く買いたいと考えています。包帯Aと包帯Bでは、どちらがよくのびるといえるでしょうか。 割合（何倍）の考えをつかって、比べましょう。 A：（のばす前）20cm （のばした後）40cm B：（のばす前）10cm （のばした後）30cm T:動作化しながらゆっくり2～3回読む。 ①どんな様子か考えよう。（情景図的動作） ②どんな倍の数直線図をかいたらいいか考えながら聞こう。（倍の数直線図的動作） T:包帯Aの1倍は？→C:のばす前 T:包帯Bの1倍は？→C:のばす前 T:そうですね。では、倍の数直線図をかいて、式と答えをかこう。 ※3回目を読みながら倍の数直線図をかかせる。	・WB
2. 自力解決・学びあい 包帯A  $40 \div 20 = 2$ 2倍 包帯B  $30 \div 10 = 3$ 3倍 だから、包帯Bがよくのびると言える。 だから、包帯Bを買ったらいい。 ※子どものかいた答えを修正していく。 倍の数直線図の定着をはかる。	・全員のWBを貼りだす。
3. まとめ・ふりかえり （まとめ）割合で比べる方法とは、何倍かで比べること。・わり算で比べること。 P117④（個別指導）	